'ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー(総務省技術基準適合品)

///////





アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとう でざいます。本機の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただく ため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読み下さい。また、この取扱説明書は大切に保管して下さい。ご使用中の不明な点や不具合が生じた時、お役に立ちます。

アルインコ株式会社

♦♦♦目 次♦♦♦

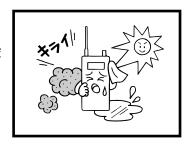
安全上のご注意			
目 次	•••••	6	3
使用前のご注意・・・・・・	•••••		3
1. お使いになる前に・	••••••	•••••10)
特定小電力の交信制を	限について ・・・・・・・	1	9
2. 3つの交信モード・	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	20)
各モードの概要・・・・		20	כ
		2	
		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
レピーターモード		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•
ケアモニターモー		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•
3. 便利な機能・・・・・・・			
キーロック ・・・・・・・	• • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
バッテリー警告機能	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•

4. セットモード・・・・・・・・・・・39
セットモードー覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
各項目の設定方法・・・・・・・・・・4
スケルチレベル設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
マイクゲイン調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
バッテリー充電機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
バッテリーセーブ機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ビープ設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
オートパワーオフ機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ランプ設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 11 A=
5. 付 録48
レジャーチャンネル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
ビジネスチャンネル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
オプション一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
故障とお考えになる前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・5
定格 DJ-D30D · · · · · · · · · 52
保証書



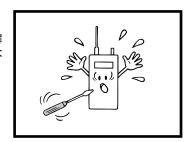
■ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たるところ、 ほこりの多い場所は避けてお使いくだ さい。



■分解しないで

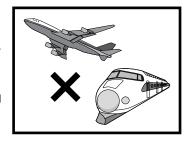
改造、変更は禁止されています。分解 したり内部を開けることは絶対にしな いでください。



■ご使用禁止場所

本機は総務省技術基準適合品ですが、 使用場所によっては思わぬ電波障害を 引き起こすことがあります。次のよう な場所では使用しないでください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内 など。また日本国内でのみ使用してく ださい。



■交信距離

交信のできる距離は周囲の状況によって大きく異なります。

大体の目安

海 上 : 2.5km ゲレンデ: 1.5km

(見通しの良い所)

郊 外 : 1km程度 市街地 : 100m程度

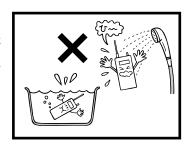
■障害物

本機に採用されている電波は直進性が 高いため、間にビルや橋脚、又は山や 丘陵等の障害物があると交信できる距 離が短くなります。



■水につけないで

防水設計ではありませんので、図のようなご使用は避けてください。なお、水雪等が付いた時は手早くふき取ってください。



お使いになる前に

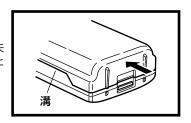
本製品をお使いになる前にお読みください。

…… 付属品と付け方 ……

開梱しましたら、付属品を確認してください。

- □電池ケース
- □ストラップ
- □ベルトクリップ(ビス1本)
- □取扱説明書(本書)
- 乾電池ケースの取り付け

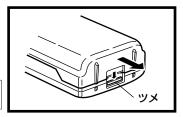
乾電池ケースを本体の溝に合わせて、矢 印の方向に押さえるように「カチッ」と 音がするまで押し込みます。



■ 乾電池ケースの取り外しかた

乾電池ケースのツメを押して、矢印の方 向にゆっくり引き抜きます。



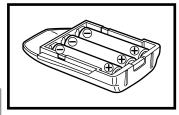


■ 乾雷池のヤット

市販の単3型アルカリ乾電池3本を、 ケース底面の「+|、「-| の表示にした がってヤットします。

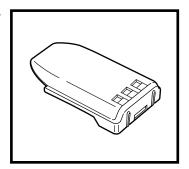


- ・ 市販の単3型ニッカド乾電池は使 用しないでください。
- ・乾電池は同じ種類の新しいものを 使用してください。
- ・高容量のアルカリ乾電池を使用し てください。



■ ニッケル水素バッテリーパック

●オプション EBP-52N (3.6V-500mAh) EBP-53N (6.0V-500mAh) EBP-54N (3.6V-1500mAh)



注音 バッテリーパック使用上の注意

- バッテリーパックは出荷時には充電されておりません。 お買い上げ後に充電してからご使用ください。
- ・本バッテリーをEDC-105で充電する時は最大10時間が必要です。
- ・充電は0℃~40℃の温度範囲内でおこなってください。
- ・バッテリーパックの改造、分解や火中、水中への投入は危険ですからしないでください。
- ・バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。 機器が損傷したり、バッテリーの発熱による火傷の恐れがあります。
- ・必要以上の長時間の充電(過充電)は避けてください。バッテリーの性能を低下させ る恐れがあります。
- ・バッテリーパックの保存は、-20℃ ~ +45℃の範囲で湿度が低く乾燥した場所を
- 選んでください。 それ以外の温度や極端に湿度の高い所では、バッテリーの漏液や、金属部分のサビの 原因になりますので避けてください。
- ・通常の使用で約500回の充電が可能ですが、所定の時間充電しても使用時間が著しく 短い場合は寿命がつきたものと思われます。新しいものにお取替えください。
- ・ご使用済みのバッテリーパックは、環境保護のため、燃えないゴミといっしょに捨て ずに、当社サービス窓口に相談するか、または電池回収協力店へご持参ください。

■ バッテリーのショート防止 のご注意

バッテリーパックを持ち運ぶときには、端子をショートさせないように注意してください。

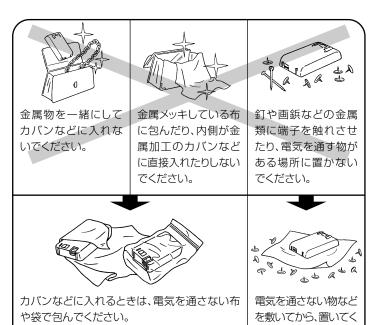
大電流が流れて火傷や火事を起こす危険があります。



ださい。

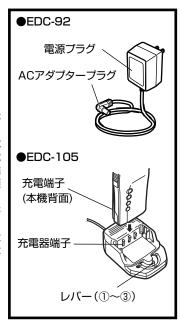
■バッテリーの保管について

バッテリーを保管するときは、以下のことに注意してください。



■ 簡易充電器 (EDC-92、EDC-105) の 充電方法

- 1 本機にニッケル水素バッテリーパックを装着します。(バッテリーパック単体でも充電可能です)
- 2 ACアダプタープラグを充電器本体 に接続します。
- 3 充電時、本機背面の充電端子と充電器の端子とが接触するように、充電器のレバーで、①から③の位置を選択してください。(バッテリーの種類により位置が異なります)
- 4 電源プラグを家庭用電源のAC 100Vのコンセントへ接続します。
- 5 充電器の赤色LEDが点灯し、充電状態となります。(接続時は常時充電状態です。)



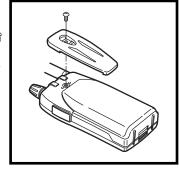


- ・必ずEDC-92とEDC-105をセットでお使いください。
- ・充電中バッテリーの温度が一定以上高くなると、保護回路が動作し、充電をストップ します。(赤色LEDが消灯します) その場合、速やかに本機及び、電源プラグを取り 外し、原因を取り除いてから使用してください。
- ・簡易充電器(EDC-105)を充電使用時には、必ず本機の電源を"OFF"にしておいてください。
- ・簡易充電器(EDC 105)を使用しない時には、電源コンセントから外しておいてください。
- ・他社製品の充電等には、絶対に使用しないでください。
- ・充電時間はバッテリーバックの消費状態及び各商品によって異なりますが、最大約10時間必要です。
- 各バッテリーパックの取扱説明書を参照してください。
- ・本機の充電端子を金属片等で短絡させたりすると、本機にダメージを与える場合があります。
- ・AC100Vが著しく低下すると、充電できないことがあります。

■ ベルトクリップの取り付け

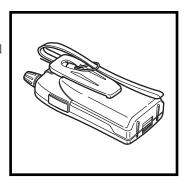
ベルトクリップを付属のネジで本機の背面に取り付けます。

確実に取り付けたことを確認してください。



■ ストラップの取り付け

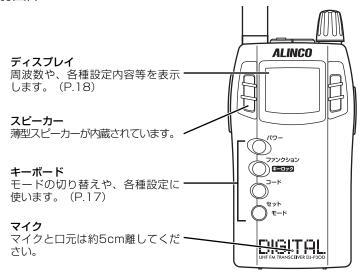
ベルトクリップと本機の溝の間に右の図のように取り付けます。



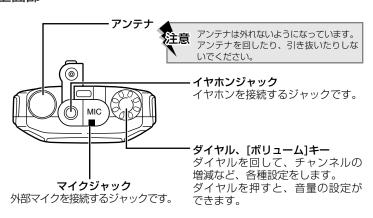
········ 各部の名前とはたらき ·······

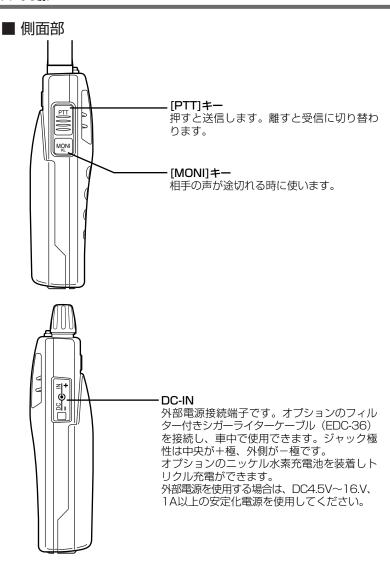
本機の各部の名前とそのはたらきを説明します。

■ 前面部

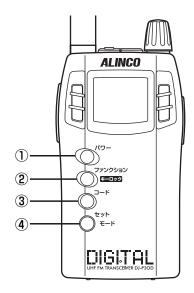


■上面部





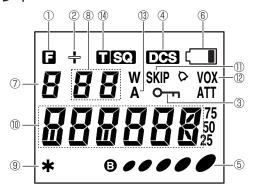
■ キー配置



	キー名称	機能
1	[パワー]キー	電源をON/OFFします。
2	[ファンクション (キーロック)]キー	各種設定の開始に使います。 約1秒間押し続けるとキーロックができ ます。
3	[コード]キー	DIGITALコード設定に使用します。
4	[セット(モード)]キー	セットモードを設定します。 □ 点灯状態では、モードの切り替えに使います。

※1:日点灯状態とは、[ファンクション(キーロック)]キーを押して、ディスプレイに日を点灯させた状態です。

■ ディスプレイ



	説明
1	ファンクションキーを押すと点灯します。
2	バッテリーセーブを解除した時に点灯します。
3	キーロックされている時に点灯します。
4	デジタルコードの同じ信号を受信すると点灯します。
(5)	送信時点灯します。受信時は受信レベルを表示します。
6	電池の残量が少なくなると点灯します。
7	レジャーチャンネルかビジネスチャンネルかを表示します。
8	ch番号を表示します。
9	内臓の充電機能がON時に点灯します。
10	デジタルコードを表示します。
11)	レピーターモード時点灯します。
(12)	ケアモード時点灯します。
13)	オートパワーオフON時に点灯します。
(14)	送信時に点灯します。

■ チャンネル表示について

●トランシーバーモード

レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。



L表示のチャンネルでは、従来のレジャータイプ (9チャンネル機) と通信できます。

b表示のチャンネルでは、従来のビジネスタイプ (11チャンネル機) と通信できます。

●レピーターモード

レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。

・・・・・・・特定小電力の交信制限について ・・・・・・・

特定小電力トランシーバーの交信に関する制限事項を説明します。

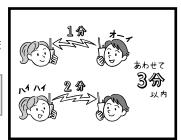
■ 一定の時間以上は連続で送信できません。(3分制限) 送信、受信合わせて3分以内です。

10秒前に警告音が鳴ります。(モード5、7設定時および受信時は無効)

交信時間が合計3分になると自動的に交信は停止します。



·3分の交信時間制限により、自動的に交信が止まった後は、約2秒たたないと次の送信はできません。

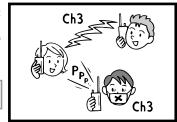


■受信中は送信できません。

一定の強さの信号を受信している時は PTTキーを押しても送信出来ません。 受信中にPTTキーを押すとアラーム音 が鳴り、送信できないことを知らせます。



ビープ音量を0に設定している時、アラーム音は鳴りません。(P.43)





3つの交信モード

DJ-P30Dで使用できる3つの交信モードの概要と操作方法を紹介します。

…… 各モードの概要 ……

ここでは3つの通信モードの概要を説明します。

■トランシーバーモード



最も基本的な単信通話モードです。工場出荷状態で電源を入れると、このモードになります。送信時にPTTキーを押して通話します。通話可能なエリア内であれば、同じチャンネルで同じデジタルコードを設定すれば全員交信できます。使用チャンネル:L1~9、b1~11

■レピーターモード



半複信方式のデジタルレピーター(中継器)にアクセスできるモードです。デジタルレピーター(中継器)を使うことによって単信通話では電波の届かない相手と交信することができます。

使用チャンネル:L10~18、b12~29

■ケアモニターモード



本機2台を使って、親機から子機の送信をコントロールできます。乳幼児や病人の監視などに活用できます。

使用チャンネル:L1~9、b1~11

…… 各モードの操作方法 ……

モード別に操作方法を説明します。

…… トランシーバーモード ……

もっとも基本的な交信モードです。

1 電源を入れる

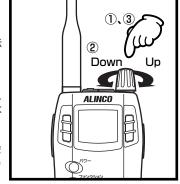
パワーキーを約2秒押すと電源が入ります。

電源を切るときは、もう1度パワーキーを約2秒押します。



2 音量を調整する

- ①ダイヤルスイッチを1回押します。 ディスプレイに「voL - 15」と表示 されます。
- ②ダイヤルを回して音量を調整します。〇~30の31段階で調整できます。数字が大きくなるほど音量が大きくなります。
- ③ダイヤルスイッチを押すか、そのまま の状態で5秒たつと通常モードに戻り ます。

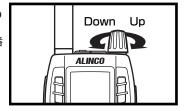




外部イヤホンを使用する際には音量 を下げてからご使用ください。

④ チャンネル番号を合わせる

ダイヤルを回し相手と同じチャンネル番 号に合わせます



4 デジタルコードを合わせる

- ①コードキーを押して、デジタルコード設定モードにします。
- ②一番左の数字が点滅します。
- ③ダイヤルを回すと数字が変わります。
- ④さらにコードキーを押すとひとつ右の 数字が点滅します。
- ⑤6桁のデジタルコードを相手と同じ数字に設定します。
- ⑥PTTキーを押すか、そのままの状態で5秒たつと通常モードに戻ります。



6 受信すると・・・

電源を入れると、受信待ち受けが始まります。

信号を受信するとスピーカーから相手の 声が聞こえてきます。

■相手の声が途切れる場合

スケルチレベルを変更するか、モニターキーを押してみてください。 聞きやすくなることがあります。 モニターキーを押している間、**③**が点

灯します。



6 送信する

信号を受信していないことを確認して PTTキーを押します。

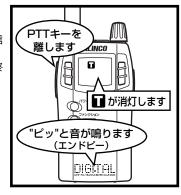
ディスプレイに 配が点灯したら、マイク部から5cm位離してお話しください。



7 送信が終わったら

PTTキーを離すと送信を終えて、受信 待ち受け状態になります。

■とレベルメータ5個が消灯して送信終了です。



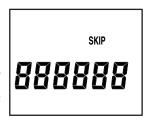
通常の交信では直接交信できない場所にいる相手と中継器を介して 無線機のように交信するモードです。

中継器として弊社製デジタルレピーターが別途必要です。



● レピーターモードに設定する

- ①ファンクションキーを押します。
- ② 🖪 点灯中にモードキーを押します。
- ③SKIPが点灯し、チャンネルがレピーターチャンネルに変わります。
- ④PTTキーを押してレピーターモード を確定します。



チャンネルとデジタルコードを合わせる

- ①ダイヤルを回して、使用するデジタルレピーターと同じチャンネルに合わせる。
- ②トランシーバーモードと同様の方法で レピーターと同じデジタルコードに合 わせる。

3 交信する

- ①PTTキーを押し続けます。レピーターへのアクセスが成功すると、1秒後に「ピピ」という音が聞こえます。
- ②そのままマイクに向かって話します。 後は通常の交信と同様の操作です。



4 「プププ」と音がしたら

レピーターへのアクセスが失敗した場合「プププ」と音が出ます。 レピーターの通話エリヤにない場合や、 デジタルコードが一致していない場合も レピーターを使用することはできません。

・・・・・・・・ ケアモニターモード・・・・・・・

本機2台を使って、親機から子機の送信をコントロールすることができます。乳幼児や病人の監視などに活用できます。



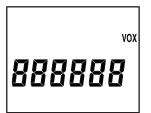
1ケアモニターモードに切り 替える

- ①ファンクションキーを押します。
- ② □ 点灯中にモードキーを2回押します。
- ③VOX が点灯し、ケアモニターモード に変わります。
- ④PTTキーを押して、ケアモニター モードを確定します。

② チャンネルを合わせる

ダイヤルを回して、2台を同じチャンネルに合わせます。

- 3 子機のセット
 - ファンクションキーを押します。
 - ② **日** 点灯中にコードキーを押すと「ピピ」音がなって子機に設定されます。



4 子機を送信させる

- ①親機のPTTキーを押します。
- ②「ピピ」音がなり、子機の送信が始まります。
- ③子機は、「25秒送信」→「5秒受信」 の間欠動作を繰り返します。

分子機の送信を止める

- ①子機の「5秒受信」中に、親機のPTT キーを押します。子機は待機状態にな ります。
- ②もう1度親機からの送信命令を受ける とまた送信をはじめます。



: 子機の電源を入れ直した場合は、再 ・度「❸子機のセット」を行ってくだ さい。



便利な機能

本機の使用するときに便利な機能を紹介します。

キーロックしておくと、誤って設定を変えてしまうことを防げます。

1 キーロックする

ファンクションキーを 1 秒以上押し続けます。

「ピピピピピ」と音が鳴り **~**マークが表示されます。



❶ キーロック解除

ファンクションキーを 1 秒以上押し続けます。

音量設定、キーロック解除

「ピピ」と音がなり 〇一 が消えます。



Omマーク点灯中は以下の操作以外は無効になります。 電源ON/OFF、モニター、送信、

…… バッテリー警告機能 ……

電池の残量が少なくなると、ディスプレイに電池マークが点灯します。電池マークが点灯するとすぐ使えなくなるので、新しい電池と交換してください。



<u>·····</u>··· リセ<u>ット ·······</u>

リセットすると、工場出荷時の状態に戻ります。

1 リセットするには

ファンクションキーを押しながら、電源を入れます。





セットモード

各種交信をより使いやすくするための機能です。

·········· セットモー<u>ドー覧 ·····</u>····

各種機能をより使いやすくするために、DJ-P30Dをカスタマイズする機能です。次の項目が設定できます。

スケルチレベル設定 マイクゲイン調整 バッテリー充電機能 バッテリーセーブ機能 ビープ設定 オートパワーオフ機能 ランプ機能

…… 各項目の設定方法 ……

セットモードは次の方法で設定します。

セットキーを押してセット モードに入ります。



- セットキーを押して設定したい項目を選択します。
- **③** ダイヤルを回して設定値を 変更します。



PTTキーを押します。

これで設定は完了です。

各種設定の詳細は次ページ以降をご参照 ください。

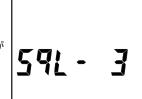


…… スケルチレベル設定 ……

受信させる信号レベルを設定する機能です。

スケルチレベルの数字が小さいほど、弱い信号でスケルチが開きます。

- 1 スケルチレベル設定に合わせる
 - ①セットキーを1回押して、「SqL」が 表示されるのを確認します。



2 スケルチレベルを切り替える

ダイヤルを回してスケルチレベルを変更します。 スケルチのレベルは1~5の間で設定します。 初期値はスケルチ3です。

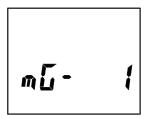
…… マイクゲイン調整 ……

送信する時のマイクの感度を設定する機能です。

マイクゲインの数字が大きいほどゲインが大きくなります。

マイクゲイン設定に合わせる
セットキーを2回押して、「mG」が表示

セットキーを2回押して、「mG」が表示 されるのを確認します。



2 マイクゲインを切り替える

ダイヤルを回してマイクゲインを変更します。 マイクゲインは 1 ~ 4 の間で設定します。 初期値はマイクゲイン 1 です。

・・・・・・バッテリー充電機能・・・・・・

オプションのニッケル水素充電池を装着し、外部電源端子よりトリクル充電できます。



✓ ★ 本機の電源を切っても充電できます。その時、ディスプレイの電池マークが点滅します。

- 充電機能設定に合わせる
 - ①セットキーを3回押して、「cHArGE」 が表示されるのを確認します。



2 ダイヤルを回して、on/oFFを切り替える

onにすると充電できます。 onの時、*が点灯します。



単三乾電池装着時は、絶対に充電しないでください。 液漏れなどの原因となります。

…… バッテリーセーブ機能 ……

待ち受け状態が5秒以上続くと、内部電源を定期的にon/oFFさせて電池の消費を少なくする機能です。

1 バッテリーセーブ設定に合 わせる

> セットキーを4回押して、「bS」が表示 されるのを 確認します。



2 バッテリー機能を切り替える

ダイヤルを回して、on/oFFを切り替えます。 初期設定は on です。 バッテリーセーブ機能が oFF 設定時は「oFF」が点灯します。

------ビープ設定 ------

本機から鳴るビープ音のon/oFFを設定します。

❶ ビープ設定に合わせる

セットキーを5回押して、「bEEP」が表示されるのを確認します。



② ビープ設定を切り替える

ダイヤルを回して、ビープ音のon/oFFを切り替えます。oFFに設定すると全てのビープ音がならなくなります。

…… オートパワーオフ機能 ……

電源スイッチの切り忘れを防ぐ機能です。APOが設定されているときに無操作の状態が設定時間続くと、ビープ音が鳴り、自動的に本機の電源が切れます。

オートパワーオフ機能に合 わせる

セットキーを6回押し、「APo」が表示されるのを確認します。



2 オートパワーオフ機能を切り替える

ダイヤルを回してAPO時間を変更します。 APO時間は、oFF、30分、60分、90分から選択できます。 初期設定は、30分です。

……… ランプ機能 ………

ディスプレイ照明のon/oFFを設定します。on設定時は、いずれかのキー操作をするとディスプレイの照明が自動的に点灯し、無操作状態が5秒間続くと自動的に消灯します。

● ランプ機能に合わせる

セットキーを6回押して、「LAMP」が表示される のを確認します。



2 ランプ機能を切り替える

ダイヤルを回して、on/oFFを切り替えます。 初期設定はonです。



付 録

本製品の補足事項を記載しています。

…… 各チャンネルの送受信周波数 ……

単信チャンネル (レピーターモード以外) レジャー9CH+ビジネス11CH

	チャンネル番号	本機での チャンネル表示	送受信周波数(MHz)
	1	LO1	422.2000
	2	L02	422.2125
	3	L03	422.2250
レジャータイプ	4	L04	422.2375
9チャンネル	5	L05	422.2500
05 (5-1-7)	6	L06	422.2625
	7	L07	422.2750
	8	L08	422.2875
	9	L09	422.3000
	1	bO1	422.0200
	2	b02	422.0625
	3	b03	422.0750
	4	b04	422.0875
ビジネスタイプ	5	b05	422.1000
11チャンネル	6	b06	422.1125
	7	b07	422.1250
	8	b08	422.1375
	9	b09	422.1500
	10	b10	422.1625
	11	b11	422.1750

半複信チャンネル (レピーターモード) レジャー9CH+ビジネス 18CH

	チャンネル	本機での	受信周波数	送信周波数
	番号	チャンネル表示	(MHz)	(MHz)
レジャータイプ	1	L10	421.8125	440.2625
	2	L11	421.8250	440.2750
	3	L12	421.8375	440.2875
	4	L13	421.8500	440.3000
9チャンネル	5	L14	421.8625	440.3125
05 (5 40)	6	L15	421.8750	440.3250
	7	L16	421.8875	440.3375
	8	L17	421.9000	440.3500
	9	L18	421.9125	440.3625
	1	b12	421.5750	440.0250
	2	b13	421.5875	440.0375
	3	b14	421.6000	440.0500
	4	b15	421.6125	440.0625
	5	b16	421.6250	440.0750
	6	b17	421.6375	440.0875
	7	b18	421.6500	440.1000
	8	b19	421.6625	440.1125
ビジネスタイプ	9	b20	421.6750	440.1250
18チャンネル	10	b21	421.6875	440.1375
103 73470	11	b22	421.7000	440.1500
	12	b23	421.7125	440.1625
	13	b24	421.7250	440.1750
	14	b25	421.7375	440.1875
	15	b26	421.7500	440.2000
	16	b27	421.7625	440.2125
	17	b28	421.7750	440.2250
	18	b29	421.7875	440.2375

…… オプション一覧 ………

本製品のオプション製品の一覧です。

EBP-52N ニッケル水素バッテリーパック(3.6V 500mAh)

EBP-53N ニッケル水素バッテリーパック(6.0V 500mAh)

EBP-54N ニッケル水素バッテリーパック (3.6V 1500mAh)

EDC-36 フィルター付きシガーライターケーブル(DC12V系)

EDC-37 基地局用DCケーブル(DC12V系)

EDC-43 シガーライターケーブル(DC12V系)

EDC-92 簡易充電器 (ウォールチャージャー)

EDC-105 置型簡易スタンド

EMS-9 スピーカーマイク

EME-6 プチ型イヤホン

EME-12A VOX付きヘッドセット(ヘッドホンタイプ)

EME-13A VOX付きヘッドセット(インナータイプ)

EME-15A VOX付きタイピンマイク

EME-19A ヘッドセット(ヘッドホンタイプ)

EME-20 イヤホンマイク

ESC-37 ソフトケース

◆必ずEDC-92とEDC-105をセットでお使いください。



EME-19A をモード2(複信無線モード)でご使用になる場合は、操作方法がEME-12A/13A/15Aと異なります。

呼び出し : 黒いボタンをオンにします。 応答 : 黒いボタンをオンにします。

通話の終了 : 黒いボタンをオフにし、白いボタンを押します。

通話していないときは、黒いボタンをオフにし、次の呼び出しを待ちます。

…… 故障とお考えになる前に ……

本製品が故障かなと思ったら、まずこちらをお読みください。

症状	原因	処 理
電源を入れて	電池の入れ方が違う。	電池を正しく入れ直してください。
も何も表示し	電池が消耗している。	乾電池をご使用の場合は、新しい
ない。		乾電池に交換してください。バッ
		テリーパックをご使用の場合は充
		電してください。
スピーカーか	voL設定がOになっている。	voL設定を1~30のお好みの値に
ら音が出ない。		設定してください。
	相手とデジタルコードが違う。	交信相手とデジタルコードを合わ
		せてください。
受信しない。	相手とチャンネルが違う。	交信相手とチャンネルを合わせて
		ください。
	相手と距離が離れすぎている。	交信距離を目安に交信してください。
	PTTスイッチを押して送信中	PTTスイッチを離してください。
	である。	
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなるのを待ってから送
		信するか、チャンネルを変えてく
		ださい。
	交信制限時間を過ぎている。	PTTスイッチを離し、2秒待って
		から、再度送信してください。
	PTTスイッチを押しながら電	PTTスイッチを押し直してくだ
	源を入れた。	さい。
キーを操作で	キーロック状態である。	キーロックを解除してください。
きない。		
チャンネルが		
変わらない。		

- ◆上記の処置を施してもなお異常が続く場合は、P.38を参照して リセット(初期化)してください。
- ◆電池が激しく消耗していると、まれに誤動作することがあります。 動作がおかしい時にディスプレイの電池マークが点灯していたら、電 池を交換してください。正常な状態に戻る場合があります。

······· 定格DJ-P30D ·······

送受信周波数	レジャーチャンネル	421.8125~421.9125MHz (受信)	
		422.2000~422.3000MHz(送受信)	
		440.2625~440.3625MHz (送信)	
		(12.5KHzステップ)	
	ビジネスチャンネル	421.5750~421.7875MHz (受信)	
		422.0500~422.1750MHz(送受信)	
		440.0250~440.2375MHz(送信)	
		(12.5KHzステップ)	
電波形式	F1E(GMSK)		
送信出力	10mW		
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン		
受信感度			
音声出力	100mW以上		
消費電力	送信時		
	受信定格出力時(50mW) 約120mA		
	受信待ち受け時 約35mA		
	バッテリーセーブ時 (<u>s</u>	平均) 約11mA	
通信方式	単信方式		
	半複信方式		
定格電圧	DC3.6V~DC6.0V		
外部電圧端子	DC5.0V~DC16.0V		
中間周波数	1st IF 21.7MHz 2nd IF 450kHz		
寸 法	56(W)×102(H)×28(D)mm(突起物含む)		
重 量	180g(乾電池含む)		